

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：高等学校費 目：教育振興費

事業名 産業教育振興設備整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 学校支援課 産業教育係 電話番号：058-272-1111 (内 3882)

E-mail： cl7782@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 165,984 千円 (前年度予算額：159,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	159,000	0	0	0	0	0	0	0	159,000
要求額	165,984	0	0	0	0	0	0	0	165,984
決定額	165,984	0	0	0	0	0	0	0	165,984

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県の産業界の次世代を担う人材を育成するために、県立高校において必要な実験・実習装置や設備を整備する。

(2) 事業内容

- ・ 産業教育設備の整備・更新
- ・ 故障した機器の修繕
- ・ 更新対象の老朽化した機器の廃棄

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
修繕費	5,000	故障した設備、装置等の修繕等
役務費	3,040	旧設備等の廃棄手数料
保険料	50	自動車自賠責保険料
使用料・賃借料	800	ソフトウェアライセンス契約
工事請負費	1,750	設備、装置等の設置に伴う工事
備品購入費	155,284	産業教育設備、装置、備品の購入
公課費	60	自動車重量税
合計	165,984	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

・第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針1 りふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成

目標5 産業教育の推進

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 産業社会や技術の進展に応じた専門性の基礎・基本を確実に身に付けるために必要となる実験・実習用機器を継続的・計画的に導入する。また、産業教育設備、装置の故障等に速やかに対応し、生徒の授業環境を維持する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標	
					(R)	達成率
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

突発的な故障等にも対応しながら更新(導入)、修繕を行うため、指標の設定になじまない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 重点整備において導入した主な設備（装置等） 数値制御装置（加茂農林、高山工業） 基礎的設備として導入した主な設備（装置等） MAC ノート PC（岐阜商業）、制動力試験装置（岐南工業）、縫製用ミシン（岐阜城北）、冷凍冷蔵庫（恵那農業）、電子計算組織（大垣商業、大垣工業ほか）、フォークリフト（加茂農林）
令和 3 年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	将来、岐阜県の産業界で活躍できる人材を、継続的に育成するため。
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 3	産業教育設備の更新により、最新の専門的な知識や技術・技能を習得するとともに、ものづくり競技会等で成果をあげた。
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	設備整備にあたっては、老朽化が進んでいる既存の実験・実習装置に更新の優先順位を考慮し、計画的している。

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 設備の老朽化が進んでおり、老朽化した設備の更新・維持・補修に関する予算が不足している。引き続き予算措置を講ずる必要がある。 また、国庫補助事業(スマート専門高校整備事業)としてデジタル実習装置を導入したが、単年度事業であることから今後の機能維持、更新等に関する予算措置を計画的に進めておく必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 次世代の産業人を育成するために、これまで計画的に整備・更新を進めてきた。今後も計画に基づいた整備・更新を進めることが必要である。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>スマート農業教育推進事業費 【農業経営課】</p>
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	<p>農水省国庫補助事業と組み合わせて、スマート農業を学ぶことができる環境整備を行う。</p>